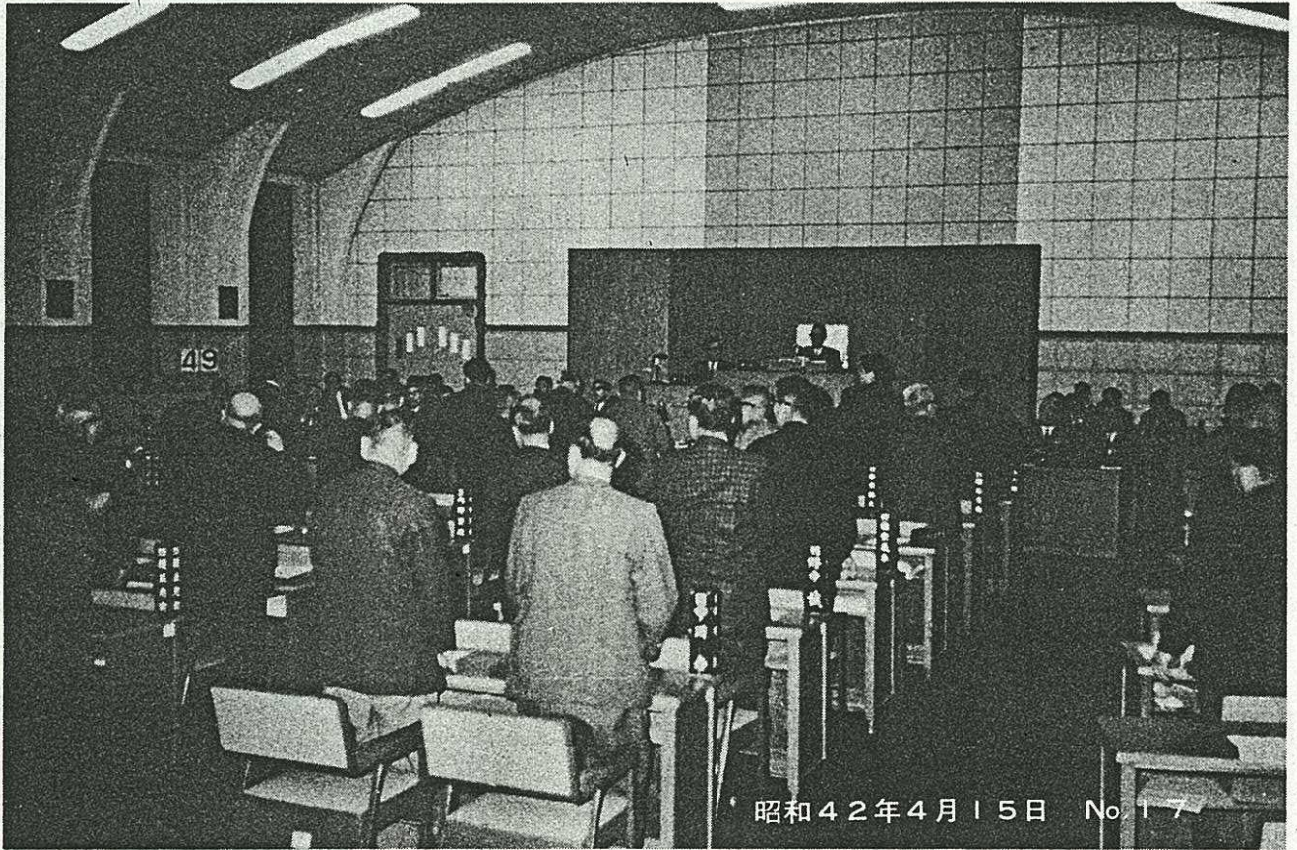


市議会だより

北九州市議会事務局



昭和42年4月15日 No. 17

ごあいさつ



北九州市議会
議長

河内 定一



北九州市議会
副議長

大庭 勇

市民の皆様におかれては、日頃市政の推進に深いご理解と、ご協力を賜わり心から感謝申し上げます。

さて、このたびの市議会役員選挙において、はからずも議長および副議長の重責をになうことになりました。

私共は、使命の重大さを痛感するとともに、今後とも円滑なる議会運営と市政発展のため、最善の努力を続け、皆様のご期待にそいたいと存じております。

北九州市も発足以来、はやくも五年目を迎え、明るい住みよい百万都市をめざし着々と発展をしておりますことは市民の皆様とともにご同慶に存するものであります。

しかしながら、その途上にあるだけに、市政の前途にはなお幾多の重要問題が山積している現状であります。私共は議会に課せられた責任の重大さを更に自覚し、市民の皆様のご期待と信頼にそうべく議員各位とともに、誠心誠意努力を続ける所存であります。

どうか旧にも倍しまして、皆様方のご支援と、ごべんたつを心からお願い申しあげまして就任のごあいさつといたします。

明るい町づくりを推進する

諸政策は六月定例会で

2月定例市議会は、2月28日にはじまり、会期を二日間延長して3月31日に終りました。

審議された議案は、41年12月の定例会で継続審査となっていた40年度決算の認定をはじめ、41年度の一般会計、特別会計の補正予算、42年度の一般会計、特別会計暫定予算北九州市職員の給与に関する条例の一部改正、北九州市飼犬条例の一部改正などの各種条例、人事案件など八十二件、議員の発議による、市有地の払い下げに関する事務の調査、北九州市議会委員会条例の一部改正の二件が審議されました。

このうち、議員発議二件を否決し、ほか全議案は可決しました。
また、正副議長の辞職に伴う選挙を行ない、議長に河内定一議員、副議長に大庭勇議員を選出しました。
なお、常任委員会委員の任期満了に伴う改選、更に特別委員会委員の改選も行ないました。

42年度暫定予算

昭和42年度暫定予算総額は、百九十七億八千六百七十七万円で、このうち一般会計百十一億六千二百八十八万、普通特別会計四十六億八千九百八十八万円、企業会計三十九億三千六百六十一万円となっております。

これらの予算案および条例案は、3月11日の本会議で設けられた予算特別委員会に付託され、さらに三つの分科会に別れて五日間にわたり慎重に審査しました。

市長の予算編成方針

昭和42年度暫定予算は、4月から7月までの4カ月間の必要経費を計上した予算です。

これは新年度予算の編成期に市長選挙が行なわれたためです。3月6日の本会議で谷市長は、編成方針について要旨つぎのような説明をしました。
「北九州市繁栄のため、百万市民と一体となって明るい町づくりを推進するべく十分な検討を加え、諸政策をおり込んだ確信がある。」



予算の審査状況

市職員の研修について

全職員に研修の機会を

地方公務員の研修については、地方公務員法第三十九条に規定されており、その必要性は、今更論をまたないところです。
地方公共団体の行政の複雑化、専門技術化していく傾向に対処するためには、施設の整備拡充もさることながら、行政事務を現実に対応する職員の資質の向上と相俟

北九州市飼犬条例の一部を改正

罰則の強化、野犬の捕獲に関する規定の新設

北九州市飼犬条例の一部を改正し、題名も「北九州市飼犬取締りおよび野犬捕獲に関する条例」に改めました。

改正の主なものは

- ① 「野犬の捕獲」に関する規定が新設されました。
その主な内容は、野犬による危険防止のため緊急の必要がある場合は、わなまたは薬物を使用して野犬を捕獲することができるようになりました。
そのときは、あらかじめその期間、区域および方法を定め、飼犬をつなぐことを命ずる旨の告示をし、近辺の住民に周知させなければならぬことになりました。
 - ② 「罰則」の規定が強化されました。
主な内容は、飼犬をつながなかった者、
飼犬を捨てた者、飼犬が人をかんだときの届け出を怠り、もしくは偽りの届け出をした者は、五千円以下の罰金
措置命令に従わなかった者は、二万円以下の罰金
。立入調査を正当な理由がなく拒む等のことをした者は、二千元以下の罰金に処する。
ことになりました。
 - ③ 罰則規定については、有名無実化することのないよう十分な活用と適切な措置を講じて野犬の撲滅に特段の努力をするものと。
- 強化させること。
- 市営住宅の
維持管理費の増額を
市営住宅の中には、相当老朽化したものがあり、特に木造住宅は、入居者が満足しているとは思われません。
住宅の修理に要する経費は、住宅を長期間維持するためにも決して無駄なものではないと思われるので、今後は関係予算の増額を図ると共に、増増料金を可能な範囲で維持費に充てる等の方針をとる、適切な維持管理に努めるよう要望しました。
- ① この条例を市民へ周知徹底させること。
 - ② 不要犬の買い上げ制度を充実



3月11日に、議案に対する質疑が行なわれました。以下はその要旨です。

極力避けたい、使用料、手数料の引き上げ

A議員 使用料、手数料を引き上げる条例改正案が出されているが、こうした住民の生活に直接ひびく公共料金の引き上げは、絶対にすべきではないと思うがどうですか。

特に市民が心配するバス料金や水道料金の値上げの問題は、在任中いっさい行なわないと声明していただきたい。

市長 手数料の引き上げは、輕輕にやるべきではないと思っております。

市の事業は、できるだけ合理的な運営をはかり、引き上げは極力避けたいと思っておりますが、サービスの水準を落とさないで、事業を円滑に遂行するために必要であるということになれば、今後絶対に手数料の引き上げをしないと約束することはできません。

職員の適正な定数管理

B議員 今回提案された補正予算には市が雇用している臨時職員

を非常に数多く計上しています。これは合併以来の事務量の増加に伴いおこった市政の実態です。円滑な市政執行の体制は、職員の適正な定数管理から始まると思えます。

市長 現在、定数管理の弱点は増だけでなく、人員不足の実態を把握し、限界に達しようとしている各部署に対し、すみやかに職員の充足を図るべきだと信じますが、市長の方針を明らかにしてください。

D議員 昨年12月1日小倉市民会館前広場で、出ぞめ式演習のため行進訓練中、消防団員が運転する消防自動車事故により、団員一人が死亡し、一人が重傷を受けました。

今後努力する市営バスの路線延長

C議員 市営バスの路線延長の運動に取り組んで、すでにかなりの日時を費やしています。この問題は、是非新市長の手で成し遂げてもらいたいと思うが、所信をうかがいたい。

市長 市民の足として市民が路線延長については、強い希望をもっていることは事実です。

常備消防力の強化

職員は国の示す基準の三十四%

したがって路線延長問題も積極的な姿勢で努力したいと考えています。ただここで問題になるのは、交通事業が成り立たなければ、せっかくの路線延長もなんにもならないので、やはり路線延長をすることが採算的に今後の交通事業の運営上プラスにならないければなりません。いかに赤字を出しても路線延長だけはするという考え方はできません。と思います。

D議員 昨年12月1日小倉市民会館前広場で、出ぞめ式演習のため行進訓練中、消防団員が運転する消防自動車事故により、団員一人が死亡し、一人が重傷を受けました。これは北九州市消防行政の欠陥があらわれたと言わざるを得ません。なぜなら、消防職員数、消防車両数において、もちろん、人口、戸数の差はありますものの、他の指定都市と比較して、本市は非常に少ない。

E議員 今後市政を執行するにあたり、職員給与の改定の方針として、国家公務員の給与改定あるいは本市人事委員会の報告を今回の提案のごとく将来も尊重し、守る立場をとられる考えですか。

職員の給与改定の方針

人事委員会の報告を尊重

E議員 今後市政を執行するにあたり、職員給与の改定の方針として、国家公務員の給与改定あるいは本市人事委員会の報告を今回の提案のごとく将来も尊重し、守る立場をとられる考えですか。

裏門司臨海工業用地造成

F議員 裏門司理立事業には相当多額の予算をつぎ込んでいます。造成した土地のうち、売却できた分は、わずかに出光興産の二万二千八百坪にすぎません。

将来、工場誘致および土地の売却見込みはどうですか。更に住民福祉のために使われるべき血税が、埋め立て地のドロ沼の中に捨て去られるような無益な事業はやめるべきであると思うがどうですか。

市長 相当長い景気の沈滞時期だったので、工場の誘致は思うようにはかどっていません。しかし不況の時代に基礎的な投資をして産業基盤の整備をはかり

交通局職員のベアについて

ベアについて

景気の回復とともに工場誘致その他について積極的な手を打つのが筋であろうと思います。この計画については、今のところ用地の造成を促進し、すみやかに工場誘致をはかる考え方で、埋立事業を打ち切る考えはありません。

G議員 交通局職員のベアスアップ問題については、組合から要結の申し入れを行なっているが、実質的には市職労と同様、交通局労組においても決定をみています。

職員の生活を守るという立場からベアスアップについては、再建計画とは別に考えられないのか。市長 再建計画の中で給与改定の取り扱いを練り上げ、自治省と事前協議をし、意見の調整がついた上で次の議会に提出したい。

再建計画の中で特に人件費は、相当思い切った考え方をとる必要があると思えます。しかしながら再建計画のベアスアップ率と同様の取り扱いができるかどうかは、将来の問題ではないかと思う。



3月31日の本会議で、市政一般について質問が行なわれました。以下はその要旨です。

民生行政について

H議員 本市の身体障害児、および精神薄弱児は、推定一万二千名といわれています。このうち施設に収容を必要とする身心障害児は約六百名といわれています。ところが収容施設は委託などを含めて十一施設で、現在この施設に収容、あるいは通園している児童は約三十パーセントです。

この種の施設拡充などについてどうお考えですか。

市長 この問題については非常に施設がととのっていません。今後努力をしていきたいと思っております。現在、精神薄弱児の施設はひまわり学園、足立学園などありますが、この施設の充実については、民生局からいろいろと要求が出ています。本年度の本格予算を編成するさいに全体の予算との関連において十分考慮したいと思っております。

民生局長 ひまわり学園、足立学園などの増築をし、収容能力を増すというような考え方を42年度予算に要求中です。その他、精薄

児施設、通称、援護施設というものもやりたいと思っており、年次計画によっておこないたいと思っております。児童相談所を中心として在宅児の訪問、あゆみの会、言語障害児親の会などを育成し、家庭内の生活指導もあわせて行ないたいと考えています。また、民間施設の、あすなろ学園を学校式から、社会福祉法人に切りかえをして整備をはかるとい希望を同学園にも申し入れてあります。

各種委員の人選について

I議員 昨年末以来、問題になっている消防職員の措置要求、市職員の提訴等で一日も早く決めねばならない人事委員会委員、新学期を迎える教育委員会委員、更に監査委員等の欠員は、今日北九州市政に大きな影響を与えています。

あまり急ぐ必要のない公安委員会委員を強引に決め、一日も早く決めなければならぬ多くの人事案件はいつに本日まで議会で提案されていません。

住宅問題について

J議員 本市の住宅不足数は五万七千戸で、現在の住宅戸数二十万二千戸のうち、狭小過密住宅は二・六二パーセントを占めており、このうち大修理を要するもの、危険または修理不能のものは約一万戸で、約六万七千戸は現時点で絶対的に不足していると推計されます。緊急に解決する心構えがありますか、また、実態に即した建設計画を再検討し、とくに低家賃住宅建築について特別の対策を立てる用意がありますか。

市長 計画の方針については踏襲し、実現に努力したいと思っております。マスタープランの中に九万四千戸の建設計画がのせられていますが、しかし現実には41年度の実績をみるとマスタープランの実施計画よりも下回っているため、全体の計画としては修正の必要があるにしても、不足住宅を積極的に建設しなければならぬと思います。特に低所得者対象の住宅については、公営住宅の建設を主体として

前市長の施策を引きつぐ、か

できるだけ市の財政計画の中で、建設して実状に応じた施策をやりたいと思っています。住宅供給公社についても十分腕ふるわせる方向でやりたいと思います。

K議員 住民福祉の施策である子どもの遊び場、防犯灯の設置等吉田前市長が決められ、約束された施設の建設を、二代目の市長として、当然実施すべきだと思いがいかですか。

市長 前市長が約束されたもので、私に賛成できるものはそれを引きつぎ、発展させたいと思っています。

山田弾薬庫の撤去を

— 移転に努力する —

L議員 第三次防衛計画のなかで、北九州地区がホーク基地になっています。

吉田前市長は、ホーク基地設定に断固反対を表明しました。

市議会としても山田弾薬庫の撤去をさきの議会で議決しています。が、百万市民の生命と財産をあずかる市長として、北九州のホーク基地設定、更に山田弾薬庫の撤去について、どのように処置されるのですか。

市長 北九州のホーク基地指定について、政府からの連絡はなにも受けていませんので、全く白紙です。

山田弾薬庫については、地域開発の点から、あの地域に弾薬庫があるのは望ましくないし、危険性も相当予想されます。

移転問題については、これまでの経緯を十分調査し、努力したいと思っています。

福祉事業団の運営について

M議員 一昨年10月北九州市社会福祉事業団が設立されてから一年有余になります。今日では経営も足立学園をはじめ、地域児童館五カ所におよんでいます。従事する職員も五十名をこえ、施設利用者も日ごとに増加していますが、この施設運営をおこなう事業団の専任職員は配置されておらず、民生局の職員が兼務によって行なわれています。専任職員の配置が必要だと思います。また、事業団運営の施設職員の処遇改善についてどうお考えですか。

民生局長 専任職員を要求中です。処遇については、給与は国家公務員なみにしていますが、賞与などについては、国家公務員ブラスアルファで市の職員に近いものになっています。

公害対策について

N議員 本市の公害は大気汚染をはじめ、水質汚濁、騒音などであり、現在最も世論の関心をあつめているのは、ばい煙、亜硫酸ガスなどの大気汚染であり水質汚濁であり、市内にばい煙、亜硫酸ガスを発生する施設は七十八の工場と、六十七作業所、この施設から放出される降じん量は、年々減少はしているが、その反面亜硫酸ガスは年ごとにふえています。紫川や、洞海湾の汚染度は、魚類の全滅をきたすほどで近海漁業者の死活問題にまで発展しつつあります。このような公害防止の対策をどのようにお考えですか。

市長 これまでも行政指導により、ばい煙規制法による排出基準に従って、市において公害パトロールや、定点観測などの常時監視を行なってきた成果を上げて来たと思えます。さらに公害基本法の制定が国において話が進められており、公害の防止に有効な基本法が制定されるよう国に働きかけていきたいと思えます。

河川ならびに、洞海湾の汚染については、水質保全法に基づく、水域指定を国に申請中です。経済企画庁においても現地の調査をしましたが、水域指定が行なわれ水質基準が設定されれば工場排水などの規制を強力に指導していきたいと考えています。

自衛隊適格者名簿の作成について

〇議員 軍国主義の徴兵制度準備のための自衛隊適格者名簿の作成について、『憲法に違反し、再びあの悲惨な戦いを繰り返さないために、徴兵制の準備である適格者名簿の作成を北九州市として、是非やめてほしい』という人々が本議会で請願をしています。

市長 現在のところ、自衛隊の適格者名簿の作成については、防衛庁からならんら依頼を受けています。

〇議員 合併以来四年間に門司、小倉、八幡の三区で、新設又は増設工場に対し、総計九千五百十五万円の莫大な奨励金や補助金を支出しています。

工場誘致に関する条例の廃止を

助成の行き過ぎは考える

〇議員 若戸渡船は、明治時代から若松、戸畑の住民の足として、今日でもなお一日一万六千人の人々を運んでいます。

若戸大橋は完成したが、通行料金が高く、一方、渡船は海岸地域の町工場で働く勤労者に便利であり、料金も割安で学生、特に下請産業の多い戸畑、若松の低賃金労働者には非常に大切なものとなっています。

の「天国」となるでしょうが、勤労市民にとっては「地獄」の町となるのは必然のなりゆきです。

この際、小倉、八幡両区に残っている工場誘致に関する条例を廃止して、すべての企業体から正当な市税を徴収すべきだと信ずるが市長の見解を明らかにしてください。

市長 旧市において条例が、小倉、八幡両区で制定されていますが、法制面から見ると不備なので、整備をする必要があります。

内容は、奨励金の交付、租税の減免をはかるとかいう具体的なことは考えていません。

基本的なことは、誘致を急ぐあまり、行き過ぎた助成をすることは避けなければならないと考えています。

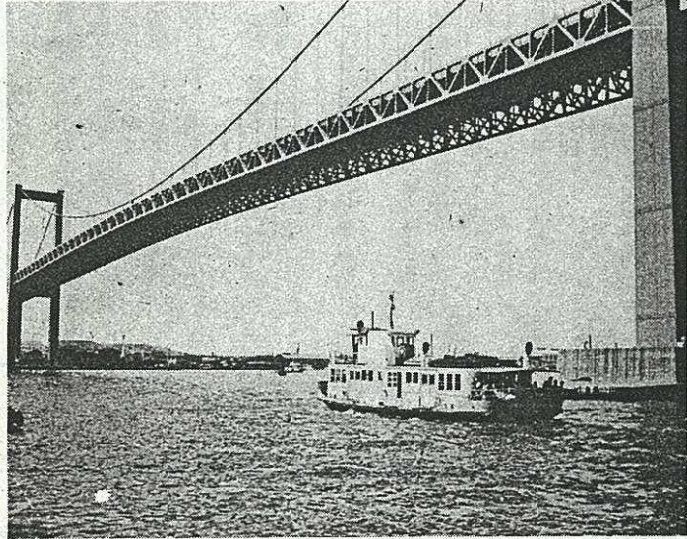
この企業誘致については種々の考え方があります。どの程度、誘致に対するよび水をするかは、今後慎重に考えたいと思います。

若戸渡船の料金を引き上げるのか

経営の合理化とあわせて検討する

〇議員 若戸渡船は、明治時代から若松、戸畑の住民の足として、今日でもなお一日一万六千人の人々を運んでいます。

若戸大橋は完成したが、通行料金が高く、一方、渡船は海岸地域の町工場で働く勤労者に便利であり、料金も割安で学生、特に下請産業の多い戸畑、若松の低賃金労働者には非常に大切なものとなっています。



若戸渡船

最近、利用者の減少と赤字経営を理由に、値上げをしようとしていますが、独占企業に対する税の免除、裏門司の埋立、戸畑ステーションビルへの出資などにくらべれば、年間わずかに一千七百万円の一般会計からの繰り入れは、問題にならない額であり、当然のことと思うがいかがですか。

市長 この問題については、なるべく値上げをいたくないという気持ちで目下検討をすすめています。

ただ、利用者が年々減少しており、船の取り替え等もしなければならぬので、赤字が増大することも考えられます。そのなかで、現在まで相当合理化も実施されたようですが、今後どの程度合理化の余地があるのか検討して、早急

に結論を得たいと思っています。一般会計からの繰出金が増大することは、このましくないと考えます。たとえ、繰出金が少なくなっても、やはり利用者の負担にすべきものは、その方向で解決するのが基本的な考え方であり、慎重に検討して、できるだけ利用者の負担増にならないように経営したいと思っています。

保健所の事務取扱について

R議員 元小倉警察署跡地に進出予定の大栄スーパリーの開設申請

手続に関して文書で回答を求めます。(文書回答については、議会だより次号に掲載予定)

2月定例市議会にて可決されたおもな議案

- ▽昭和40年度決算の認定
- ▽北九州市職員給与に関する条例の一部改正
- ▽昭和41年度補正予算
- ▽一般会計 五億八、四九六万三千円追加
- ▽普通特別会計 四億四、七八一万六千円追加
- ▽企業会計 一億七、三六五万三千円減額
- ▽北九州市立児童福祉施設条例の一部改正 児童福祉施設北方保育所および小倉母子寮の位置を変更し、また児童厚生施設として児童館を設置するため
- ▽北九州市立隣保館条例の一部改正 地域の健全な市民生活の育成のために、八幡区に隣保館を追加設置するもの
- ▽北九州市福祉地区および福祉事務所設置条例の一部改正 社会福祉を増進するため、八幡区に南福祉事務所を新設するもの
- ▽北九州市立軽費老人ホーム条例の一部改正 使用料を改定するもの
- ▽北九州市災害弔慰金および見舞金に関する条例の一部改正 物価水準の高騰などから、弔慰金および見舞金の額を改正するもの
- ▽北九州市農業共済条例の一部改正 企救、曾根、および三谷農業共済組合の行なっている農業共済事業を市へ移譲すること、ならびに農業災害補償法の一部を改正する法律の施行に伴い、条例の整備をする必要があるため
- ▽北九州市国民宿舎条例の一部改正 国民宿舎利用者に対するまかない、利用環境の向上をはかるため、使用料を改定するもの
- ▽北九州市清掃条例の一部改正 小倉区徳力地区に設置した市のし尿処理施設の汚物処理手数料を定めるため
- ▽北九州市下水道条例の一部改正 下水道使用料の減免期間を延長するもの
- ▽北九州市立小学校条例の一部改正 市立北方小学校国立病院分校、市立西小中学校を新設するもの
- ▽北九州市立立教中学校を市立小倉養護学校に統合し、また折尾西小学校を新設するもの
- ▽北九州市立立教中学校を市立小倉養護学校に移転し、また立教中学校を新設するもの
- ▽北九州市立戸畑商業高等学校条例の一部改正 通学区域を区内居住者から市内居住者に改め、授業料等を市内居住者については同一とするもの
- ▽北九州市立公民館条例の一部改正 小倉区と八幡区に公民館を追加設置し、また戸畑区内地域公民館のガス器具の整備にもないガス器具使用料を徴収するため
- ▽北九州市立弓道場条例 門司区に弓道場を新設するため
- ▽昭和42年度暫定予算
- ▽一般会計 一一億六、〇二八万三千円
- ▽普通特別会計 四六億八、九八七万五千円
- ▽企業会計 三九億三、六六一万四千円
- ▽昭和42年度補正暫定予算
- ▽一般会計 五億一、一五七万一千円追加
- ▽特別会計 八億三、四二〇万八千円追加
- ▽北九州市飼い犬条例の一部改正

常任委員会

各常任委員会は、3月11日の本会議で付託された

昭和41年度の一般会計、特別会計の補正予算、職員給与に関する条例の一部改正などについて、審査しました。そのあらましはつぎのとおりです。

戸畑ステーションビル 出資金について

戸畑ステーションビル経営再建のため、五千五百五十万円を増資し、市の負担分として六百万円を出資しようとするものです。

委員会では、市を通じて経営再建案の提出を求め、ステーションビル代表者からも本事業経営の実態を詳細に聴取し、慎重な審査を行ないました。その結果、「経営不振の要因は、一般利用者が少なく、あき室による家賃収入の減少、入居店舗の保証金の未納などであり、解決にあたり、利用者の便利をはかり、入店者の誘致に努

め、保証金などの収納に全力を注ぐべきである」として、今後、当局は常に会社の経営実態の把握に努め、適宜報告をし、また、出資金の効果を十分に達成しうる指導をするほか、駅ビル前のバスセンターの誘致についても、市営バス事業を主体とした整備計画を促進するよう、要望しました。

職員の給与に関する 条例の一部改正

国家公務員および他の大都市職員給与の改定、ならびに本市人事委員会の職員の給与に関する報告などを考慮し、給料、通勤手

当、扶養手当を改正しようとするものです。委員会で「かねてから実現を要望してきた、服務規律の確立、定数管理体制の確立、節度のある労使交渉の樹立がすみやかに実施されることが、真の市民サービスの向上につながる先決問題であり、これが解決されてはじめて、その職務に見合う給与が支給されるべきである」との観点にたつて、これらの諸点について所信を求めました。

清掃費について

今回の補正は給与改定に伴う職員の給与費がおもなものです。このうち、百八十八人分の臨時職員の賃金として、八百七十六万九千円が計上されています。

これは、退職、休職、増車などで生じた百四十人以上の欠員を補充しない、で、長期的な臨時職員に依存しているためのものであり、清掃行政の円滑な運営を阻害する要因ともなっている。早急に欠員の補充をして正規の職員で清掃業務を遂行するよう、要望しました。

人事紹介

2月市議会定例会で、つぎのことがたがりました。

福岡県公安委員会委員
我妻貞一 八幡区高見町

北九州港管理組合協議会議員
岩尾四十三郎 議員

河内 定一 議員

榎本 六郎 議員

城戸 武夫 議員

大沢 主弥 議員

鍛冶 清 議員

牧 一生 議員

北九州市監査委員
岡田 義信 議員

新議員の紹介
昭和42年2月23日に北九州市議会議員の補欠選挙が行なわれ、つぎのことが当選されました。

内野 賢 蔵 (門司区)

古賀宣善議員辞職

3月31日福岡県議に立候補の届け出をしたので、公選法第九十条の規定により自動的に市議會議員を辞職したことになりました。

常任委員会委員

総務財政委員会 (11人)	民生消防委員会 (10人)	衛生水道委員会 (11人)	経済交通委員会 (11人)	建設委員会 (11人)	文教委員会 (10人)
<ul style="list-style-type: none"> 企画局の所管に属する事項 総務局の所管に属する事項(消防団に関する事項を除く) 人事局の所管に属する事項 財政局の所管に属する事項 秘書室および会計室の所管に属する事項 他の常任委員会の所管に属しない事項 	<ul style="list-style-type: none"> 民生局の所管に属する事項 消防局の所管に属する事項 消防団に関する事項 	<ul style="list-style-type: none"> 衛生局の所管に属する事項 清掃事業局の所管に属する事項 水道局の所管に属する事項 	<ul style="list-style-type: none"> 経済局の所管に属する事項 農業委員会の所管に属する事項 交通局の所管に属する事項 	<ul style="list-style-type: none"> 建設局の所管に属する事項 建築局の所管に属する事項 	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会の所管に属する事項 北九州大学の所管に属する事項
<ul style="list-style-type: none"> ●木村 証 ○中島 武 松尾 武 山路 増衛 明石 清彦 佐野 貫一 新井 勝美 久保 利男 真鍋 政喜 山脇 昭雄 吉田 照雄 	<ul style="list-style-type: none"> ●比恵島 重光 ○松本 静夫 山西 覚一 河内 新一 小原 新平 大庭 勇 天野 源三郎 浅井 庫衛 二重 作義 牧 一生 	<ul style="list-style-type: none"> ●増田 哲夫 ○服部 嘉夫 木村 好夫 安井 玄吾 城戸 武夫 山崎 末吉 岡田 義信 安田 富彦 月俣 正男 中畑 忠男 野村 一郎 	<ul style="list-style-type: none"> ●天野 志津雄 ○内野 賢蔵 山本 岱輔 間 秋之助 都留 鶴夫 花田 武人 那波 公明 田中 覚佳 田川 長吉 重田 幸宏 本 莊 光宏 	<ul style="list-style-type: none"> ●岩尾 四十三郎 ○上田 忠義 田中 義雄 吉田 浩明 権堂 義幸 鷹木 行雄 田中 巖 森山 俊行 鍛冶 清吉 古賀 政郷 上野 博 	<ul style="list-style-type: none"> ●平山 政智 ○榎並 忠実 杉園 実寿 中川 誠郎 野中 六郎 榎本 主弥 大沢 上昭 井原 西雄

● 委員長 ○ 副委員長 ※ 文教委員会1人欠員

昭和40年度決算認定

40年度決算は、昨年12月定例市議会で、決算特別委員会を設置し、慎重に審査しましたが、一般会計決算で労働費のうち、地区労働組合等助成交付金について「交付方法及び使途について不明確な点が多く見受けられるため、慎重に審査すべきである」との意見があり、また一部委員から、監査請求をすべきだとの意思表示がなされましたが、これに対し、監査委員から、自主監査したいとの表明があり、この監査の結果報告をまつため、継続審査となっていたものです。

この地区労働組合等助成交付金は、労働者育成補助を目的として市内の労働組合六百八十五単組、組合員十八万六千五百四人に対し40年度決算額一千五百五十八万五千円の交付金が支出されています。これは勤労者の源泉徴収の報償金という名目で発足したものです。昭和30年地方税法の一部改正により報償金としての支出ができなくなったため、これにかわるものとして、旧市時代から各市それぞれに交付して今日にいたったものです。

3月10日に決算特別委員会をひらき、監査委員から自主監査の報告書が提出され「正確に使用されていることが認められた」との報告がありました。

そこで、改めて本決算を審査し一部反対がありましたので採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

なお、地区労働交付金については「財政的な援助の必要性を十分考慮し、本交付金の性格を認識して、旧来の慣行にとらわれることのない新しい見地からの額の適否、整理または統合の必要性などについても、再検討をくわえ、さらに交付対象を明確にして、その効果が十分達成されるよう」強く要望しました。

そのほか本特別委員会における要望の主なものは、次のとおりです。

公害防止対策について

本市の公害は、大気汚染、河川海水の汚濁、騒音、振動など深刻な社会問題となっております。戸畑区、八幡区、小倉区、神倉川の汚濁による悪臭、市の施設である西港清掃工場のばい煙、放流水などによる公害があり、市民の苦情の対象となっております。

公害の各種調査をはじめ、民間の工場施設診断の重点指導などを強化するとともに、まず市の施設

による公害防止に遺憾のないようにし、衛生研究所の整備もあわせ公害防止対策に万全を期すよう要望しました。

消防力の充実を

建築物の高層化と近代産業の急速な発展により、火災の様相は一変しつつあるため、これに応じた消防機材の充実が望まれるとき、本市の実態は必ずしも満足すべきものでないため、車両はもちろん各種機材を整備し早期消火と予防に努め消防体制の充実をはかるよう要望しました。

住宅建設の促進を

昭和40年度の市営住宅建設予定数七百六十七戸のうち、百三戸が41年度に繰り越されています。住宅建設をばむ大きな要素は用地の確保にあり、用地買収がおもにその年度に行なわれているため、これが是正されないと、今後もくり返され、計画どおりの建設が危ぶまれるので、今後、特に住宅供給公社と連携を密にし、長期建設計画に基づき広範な用地の先行取得を行ない、建設計画の拡大を図り、その完全実施を要望しました。

また、用地の確保のため、住宅建設が郊外に移る傾向にあるので、早急に上、下水道、道路などを含めた総合的な都市計画を立て、長期計画にそった住宅建設がなされるよう要望しました。

特別委員会委員

大都市税財政制度 確立特別委員会 (11人)	庁舎建設特別委員 会 (11人)	中小企業対策特別 委員会 (11人)	行政区域等調査特 別委員会 (11人)	基幹交通網整備促 進特別委員会 (10人)	鉱業対策特別委員 会 (10人)
大都市の税財政制 度の確立に関する 事項	庁舎建設に関する 事項	中小企業の金融並 びに倒産防止対策 に関する事項	行政区域の調査お よび衆議院議員選 挙区の改善に関する 事項	基幹交通網の整備 促進に関する事項	鉱業対策並びに産 炭地振興に関する 事項
●田中 巖 ○新井 勝美 山本 岱輔 天野 志津雄 権堂 義幸 小原 新平 田川 長佳 服部 嘉夫 山脇 昭男 中畑 忠男 吉田 照雄	●松尾 武誠 ○野中 島武 中島 六郎 榎本 村証 木村 貫一 佐野 山行 森久 保利 真鍋 政喜 古賀 政吉	●松本 静夫 ○田中 義雄 山西 武人 花田 政智 平野 賢蔵 内比 惠重 山崎 末吉 岡田 田富 安本 庄光	●那波 公明 ○月俣 正美 杉園 玄吾 安井 哲夫 増田 石彦 明大 庭勇 榎並 忠美 二重 治清 野村 義雄	●天野 源三郎 ○間 秋之助 吉田 浩明 木村 好夫 中川 留鶴 大沢 主弥 井上 昭生 内原 西雄 牧 一	●廣木 行雄 ○浅井 庫衛 岩尾 四十三郎 河内 定一 山路 増義 上山 田忠 城戸 武夫 田中 幸吉 重田 幸博 上野 博

● 委員長 ○ 副委員長 ※ 庁舎建設特別委員会1人欠員

吉田前市長

あいさつ

北九州市の初代市長に選ばれ、今日まで行政を担当しましたが、その間の議会のご協力を心から感謝します。

おかげで、合併後引き継がれた仕事あるいは根幹事業、百年の大計をたてるマスタープランの作成等困難な中にも北九州市の方向を打ちたてることができました。

そのなかで、住民福祉の施策、港湾の整備、水の問題、北九州経済の地盤沈下を救う日中貿易のための展覧会の成功等困難な問題がありました。皆さんのご協力を得て四年間を無事つとめ得ましたことは、私の最も喜びとしているところで、す。

ただ、昨年の清掃紛争で市民にたいへんご迷惑をかけたことについて責任を痛感しています。

市政に携わる皆さんはご健康に留意されご尽力下さいますようお願い申し上げます。

私も野にあつても、できるだけ北九州市のためにお役にたちたいと考えています。

議会を通じて、市民の皆さんに心からお礼のごあいさつを申し上げます。

谷 市長

就任のあいさつ

3月1日に市長に就任しました谷伍平です。

私は、困難な問題が山積しています。北九州市政の運営に当たるわけですが、議会の皆様方のご指導ごべんたつをいただきまして、誤りなき市政運営を行ないたいと念願しています。

甚だふつかな者でございますが、よろしくご指導ごべんたつをよろしくお願い申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

請願と陳情

請願 — 採択されたもの

集会所新設について(門司区上本町)
集会所建設について(八幡区春日台)
戸畑区医師会館建設に対する補助金の交付について
児童保育所の建設について(小倉区市丸)
鹿兒島本線20号踏切の跨線橋建設について(戸畑区中原)
市道第二期工事促進について(八幡区荒手町)
地区児童館の建設について(戸畑区牧山、都島地区)
特別養護老人ホーム建設に対する補助金交付について(八幡区前田町)
地区児童館の建設について(八幡区折尾)
消防出張所の設置および消火栓等の充実について(若松区藤ノ木)
県立北九州高等学校の仮校舎について
外国人登録証明書の記載事項書換えについて
在日朝鮮人の民族教育の権利の保障について
道路舗装および側溝補修について(門司区白木崎大山町)
児童公園の建設について(門司区上本町)
足原小学校の施設備品充実について
精薄児(者)対策について
上水道の敷設について(小倉区泉町)
野犬対策について(八幡区萩原)
横断歩道の設置について(八幡区穴生)
失対賃金の引き上げについて
上水道の敷設について(小倉区延命寺)

不採択となったもの

排水溝の設置について(八幡区舟町)
(理由) 趣旨にそいがたい。
通学道路の廃止および代替道路の新設について(八幡区香月)
(理由) 趣旨にそいがたい。
特別養護老人ホーム建設に対する補助金交付について(八幡区畑)
(理由) 時期尚早のため

陳情 — 採択されたもの

仮称折尾第一区画整理組合に対する技術援助について
高架立橋施工について(南小倉校区)
し尿汚物取扱許可業者に対する経済的補償について
道路の嵩上げについて(小倉区西大和町)
排水溝蓋および側壁の整備について(小倉区北方)
児童会館建設について(門司区大里)
婦人の選挙管理委員選出について
曾根地区小中学校用プールの建設について(小倉区)
児童会館等児童施設の建設促進について
尾倉中学校の施設整備について(八幡区)
清水小学校校舎および講堂の改築について(小倉区)
足立中学校の校舎改築について(小倉区)
伊川分校の移転独立について(門司区伊川)
不燃焼物収集のための人員器材の増強について

□ 全世界配布 □ 編集 北九州市議会事務局

校舎の増築について(小倉区三郎丸小学校)

消毒所の移転について(八幡区紅梅町)

類似公民館の設置について(八幡区紅梅町)

門司信用金庫の業務妨害に対する措置について

校舎改築について(戸畑区沢見中学校)

第二北方小学校(仮称)の建設促進について

井の浦地区水道工事の促進について

上水道敷設について(門司区恒見)

教育委員選出について

職業指導所並びに授産所の設置について

精薄児対象の市立保育所設置について

特殊学級、養護学校中学位の職業指導施設充実について

精薄者職業訓練所の設置について

不採択となったもの

建築局設置等機構改革反対について
(理由) 趣旨にそいがたい。
機構改革の延期について(八幡区建築設備工事連合会)
(理由) 趣旨にそいがたい。
機構改革の延期について(小倉区建設業組合)
(理由) 趣旨にそいがたい。
パスターミナル建設について(小倉区京町)
(理由) 趣旨にそいがたい。
八幡高等学校校移転誘致について
(理由) 趣旨にそいがたい。
戸畑区専用のごみ終末処理場の建設について
(理由) 趣旨にそいがたい。
清掃業の許可について
(理由) 趣旨にそいがたい。

□ 印刷 株式会社天地堂印刷製本所(小倉区)